

南台小学校及び第四中学校・第八中学校統合新校の新校舎整備期間の延長に係る
 説明会の実施結果について

1 南台小学校

(1) 開催日時及び会場、参加人数

日 時	会 場	参加人数
12月17日（火）18時30分～19時25分	南中野区民活動センター	8人
12月22日（日）10時～10時45分	南台小学校	16人

(2) 説明会で寄せられた主な質問・意見について

	主な質問・意見	区の考え方
①	校舎・擁壁の解体・新設工事で想定している4年間の工期を短くすることは出来ないのか。	4年間は想定している最長の工期であり、今後行う工法や工事の発注方法の検討とあわせて、工期短縮についても検証していく。
②	新校舎への移転は年度で区切るのではなく、可能な限り早く移転できるようにして欲しい。	可能な限り早期の移転を実現するため、今後の検証作業の中で工期短縮を図っていく。
③	南台小学校の既存擁壁は安全なのか。	既存擁壁に傾斜や沈下等はなく、現状で大きな危険性は見受けられない。
④	仮校舎への通学では、通学距離が長くなる児童もおり、通学時の安全対策を図ってもらいたい。	通学安全指導員を増員する等、児童の安全確保に取り組んでいく。
⑤	現みなみの小学校を仮校舎として使用する期間が2年間から4年間に延長しても、校舎に不都合はないのか。	現みなみの小学校を仮校舎として4年間使用することを前提に、校舎の改修を行う予定である。
⑥	南台小学校は地域との連携を教育方針としており、地域に出向いた活動も行っている。仮校舎に移転している間も、そうした活動ができるようにして欲しい。	地域との連携が継続できるよう、必要なサポートを行っていく。

	主な質問・意見	区の考え方
⑦	現みなみの小学校にある学童クラブとキッズ・プラザは、みなみの小学校が移転した後（令和2年9月以降）はどうなるのか。	学童クラブは、令和2年9月から令和3年3月まで、現みなみの小学校のプレハブ校舎から現みなみの小学校の校舎内に場所を移して継続するが、令和3年4月以降の運営場所は未定である。 キッズ・プラザは令和3年4月以降、南台小学校校舎（現みなみの小学校）内で運営する。
⑧	工事期間が延長することにより、仮校舎への通学期間も伸びることとなる。みなみの小学校への指定校変更は認められないのか。 また、工事期間中は、みなみの小学校に通い、南台小学校の新校舎完成後に南台小学校へ転校することは可能か。	今回の工事期間延長に伴う指定校変更の特例はない。 ただし、児童の健康、学校生活や、家庭の事情等による特別な配慮が必要な場合は、指定校変更や転校を認めており、別途個別に相談していただきたい。

2 第四中学校・第八中学校統合新校

(1) 開催日時及び会場、参加人数

日 時	会 場	参加人数
12月20日（金）18時30分～19時30分	第八中学校	15人
12月22日（日）14時～15時	第四中学校	15人

(2) 説明会で寄せられた主な質問・意見について

	主な質問・意見	区の考え方
①	既存擁壁の状態について、いつ、どのように調査、確認したのか。	既存擁壁の状態についての確認は、令和元年8月から9月に、目測、測量、強度を測るためのコア抜きのほか、それらの調査で得られたデータを基にした構造計算等により行った。
②	整備期間延長の影響を受ける小学生の保護者にも、今回の説明をしているのか。	今回の説明会は区報や掲示板での周知のほか、第四中学校、第八中学校の通学区域内の4校の小学校の保護者にもお知らせしている。
③	新校舎の整備期間が延長するなか、なぜ当初の計画どおり第四中学校と第八中学校を統合するのか。	小規模な学校では、部活動や運動会等で切磋琢磨することが十分にできなかったり、発表会等でも規模が制限されるほか、専科については教師ではなく講師にて対応しなければならないなど、望ましい学校運営が困難となることが想定される。 計画どおりに統合することにより、こうしたデメリットが解消できるものと考えている。
④	新校舎の供用開始時期が不確定な状況だが、新校舎へ移転するまで使用する第四中学校校舎は、普通教室等が不足したり、老朽化してしまうようなことはないのか。	第四中学校校舎が学校統合後も4年以上利用することができるよう、必要な改修工事を令和元年度と令和2年度に行う。
⑤	統合により通学距離が長くなる生徒の負担を軽減するため、電車での通学や指定校変更の特例についても検討して欲しい。	指定校変更の特例については教育委員会で検討を行い、結果はできるだけ早期に周知したい。 また、通学方法の考え方についても学校と調整のうえ整理していく。

	主な質問・意見	区の考え方
⑥	鷺宮小学校の児童は北中野中学校への指定校変更特例はないが、今回の整備期間の延長に伴い、何らかの配慮はされるのか。 また、西中野小学校の児童は北中野中学校に通うことができる指定校変更特例があるが、この特例は今後も継続されるのか。	通学距離が長くなることに伴う対応について、教育委員会で議論・検討を行い、関係する学校とも調整しながら、指定校変更特例の対象や期間等について検討していく。
⑦	通学距離が長くなることにより、塾の開始時間に間に合わなくなる可能性もあるので、生徒の最終下校時刻にも配慮してもらいたい。	統合校の最終下校時刻については学校で検討、判断をしていく。
⑧	現在の美鳩小学校は地域の防災拠点として避難場所に指定されているが、整備期間中はどのようなになるのか。	整備期間中の避難場所については、決まり次第お知らせしていく。